

科目名		発達障害評価学実習			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年		必修・選択	必修

【授業の目的・ねらい】

授業を通して発達評価を行う。正常発達の知識を発達評価の中で定着させる。疾患別による評価を学び、障害と生活機能との関連性を深く理解する。

【授業全体の内容の概要】

発達障害領域の評価を学び実際にWISCなどの発達検査をおこなう。実技と観察による評価を中心に行うため、授業は動きやすい服装で参加してください。

【講師の実務経験】

兵庫県立のじぎく療育センター、社会福祉法人まほろばにて作業療法士として従事

【授業終了時の達成課題(到達目標)】

発達障害領域の対象疾患の特徴を知り評価方法を習得する。

回数	講義内容
1	心身機能の発達過程
2	評価・治療・援助の理論とモデル
3	小児の作業療法過程
4	小児の整形疾患(分娩麻痺)
5	小児の整形疾患(二分脊椎)
6	知的障害(ダウン症候群)
7	低出生体重児 ハイリスク児
8	脳性麻痺 痙直型 片麻痺
9	脳性麻痺 " 両麻痺 失調型
10	脳性麻痺 アテトーゼ型
11	筋ジストロフィー
12	筋ジストロフィー
13	発達障害児
14	発達障害児
15	筆記試験・面接

【準備学習・時間外学習】

【使用テキスト】

書籍名	著者名	出版社
イラストでわかる発達障害の作業療法	上杉雅之 監修/辛島千恵子 編著	医歯薬出版
作業療法評価学	岩崎テル子	医学出版

【単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)】

授業内の小テスト 実習での実技と面接 筆記試験